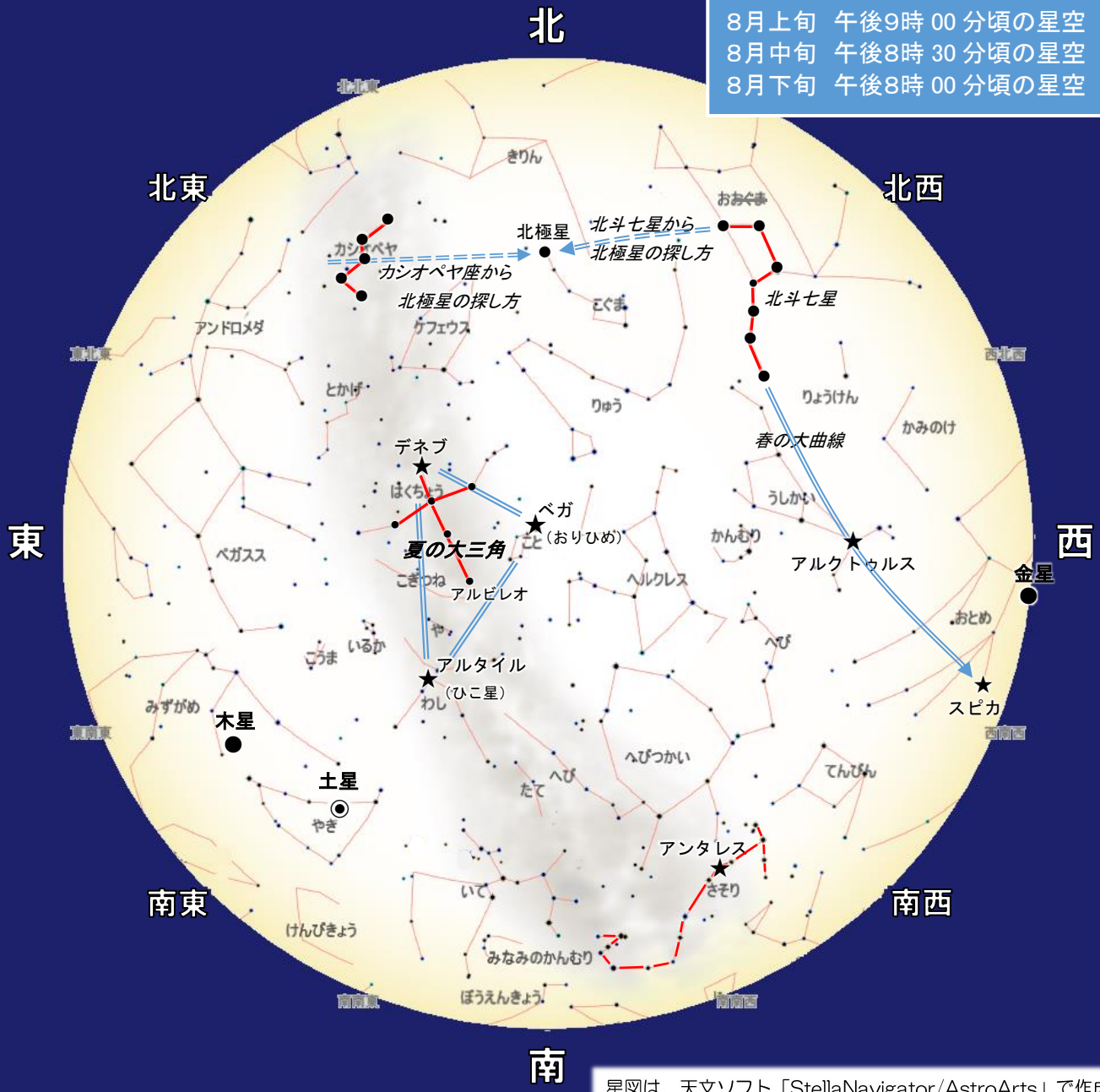


2021年 8月の星空案内



8月上旬 午後9時 00 分頃の星空
 8月中旬 午後8時 30 分頃の星空
 8月下旬 午後8時 00 分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成

【8月の星空と惑星】(伝統的七夕 と 木星・土星)

天頂付近に「夏の大三角」が見えます。七夕の星 こと座の「ベガ(おりひめ星)」、わし座の「アルタイル(ひこ星)」と はくちょう座の「デネブ」を結びます。もともと七夕は旧暦7月7日(今年は8月14日)の行事で、この日を「伝統的七夕」と呼びます。白鳥座のくちばし部分にある「アルビレオ」は二重星、望遠鏡では黄色い3等星と青い5等星が寄り添う姿が見られ、宇宙の宝石と呼ばれています。

東の空からは、土星と木星が昇ってきます。2日には土星(0.2等)が、20日には木星(-2.9)が「衝」(地球から見て太陽の反対側)の位置にくるので、一晩中見ることができます。

【ペルセウス座流星群(条件:最良)】

12(木)~13日(金)は、3大流星群の1つ『ペルセウス座流星群』の極大日です。月齢4の月(少し太めの三日月)が午後10時ごろに沈んだ後は空が暗くなり、13日の明け方にかけて、たくさんの流れ星を見るチャンスです。極大予想時刻が13日の午前4時(天文年鑑)ですので、条件は最良。空の暗い所では、1時間に数十個の流れ星が期待されています。早起きして流れ星を楽しんではいかがでしょうか。流れ星は四方八方に飛ぶので、空全体を眺めるのがおすすめです。